

令和6年7月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,244	121,115	121,500	121,600	△ 385	△ 485
2 調定水量	m ³	605,416	2,468,179	2,458,000	2,470,719	10,179	△ 2,540
3 調定料金(税抜)	円	185,419,608	753,433,001	747,000,000	668,517,515	6,433,001	84,915,486
4 口振加入件数	件	24,791	99,240	—	99,892	—	△ 652

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,266	77,040	77,230	76,275	△ 190	765
6 調定水量	m ³	376,554	1,535,544	1,507,380	1,519,718	28,164	15,826
7 調定料金(税抜)	円	70,162,168	285,353,838	282,930,000	242,061,855	2,423,838	43,291,983

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	72,532	—	73,992	△ 1,460
9 給水件数	件	30,112	—	30,219	△ 107
10 開栓処理件数	件	199	1,120	1,113	7
11 閉栓処理件数	件	217	1,009	1,016	△ 7
12 給水工事設計審査	件	28	160	218	△ 58
13 給水工事竣工検査	件	47	157	217	△ 60
14 経年メーター交換	件	390	1,591	714	877
15 メーター口径変更	件	2	5	8	△ 3
16 督促状発送数	件	1,315	5,650	5,396	254
17 月末停止件数	件	119	—	105	14

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	22	100	132	△ 32
19 排水設備工事完了検査	件	31	86	114	△ 28

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
20 当年度分	215,504,425円	74.00%	189,943,467円	74.17%	△ 0.17%
21 過年度分	3,653,433円	98.21%	4,107,157円	97.77%	0.44%
22 計	219,157,858円	-	194,050,624円	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
23 当年度分	91,924,811円	70.71%	79,988,249円	69.96%	0.75%
24 過年度分	1,010,427円	98.91%	946,856円	98.76%	0.15%
25 計	92,935,238円	-	80,935,105円	-	-

7 受益者分（負）担金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
26 当年度分	18,749,020円	47.35%	19,437,750円	42.06%	5.29%
27 過年度分	1,337,700円	5.40%	1,401,100円	19.55%	△ 14.15%
28 計	20,086,720円	-	20,838,850円	-	-

登米市水道事業キャラクター「ジョーくん」と「スイちゃん」、
登米市下水道事業キャラクター「水守（みもる）さん」



特 記 事 項

1. 7月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は203,962千円（税込）で、前月期に比べて1,056千円の減、対前年同月比では23,894千円の増となっています。営業収益は204,426千円、営業外収益は事務手数料や補償金など6,772千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など88,702千円、営業外費用は企業債利息として508千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金462千円の執行となりました。支出は、建設改良費として事務費や機器整備費など41,636千円、企業債償還金として3,080千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は77,173千円（税込）で、前月期に比べて417千円の減、対前年同月比では11,700千円の増となっています。営業収益は77,213千円、営業外収益は、他会計補助金や負担金など448,626千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など89,775千円、営業外費用は企業債利息として4,243千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、受益者分担金や受益者負担金35,468千円を執行しました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など22,741千円、企業債償還金として166,097千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 料金徴収・給水装置管理等業務委託外部評価を実施

7月1日（月）に料金徴収・給水装置管理等業務委託の外部評価を実施しました。この外部評価は、包括的委託業務における受託者の適正な業務執行状況の把握と業務の内容を適切に評価することを目的として、第三者による評価を実施する外部評価委員会を設置しており、委員は、学識経験者や上下水道事業運営審議会委員等5名で組織されています。

委員会では、受託者から令和5年度における委託実施状況について説明を受け、委員からは、概ね良好であるとの評価をいただきました。特に上下水道の料金改定やインボイス制度への対応など新たな業務が発生したにも関わらず、料金システム改修や印刷物への必要な対応等を滞りなく処理したことについて、高く評価をいただきました。

(2) 第1回上下水道モニター会議を開催

7月8日（月）に第1回上下水道モニター会議を開催しました。会議に先立ち、今回新たに2年間の任期で20名の方に市長から委嘱状が交付されました。

会議では、モニターの活動内容や登米市上下水道事業の概要について説明を行いました。

このモニター制度は、登米地方広域水道企業団の昭和60年に水道事業について、地域の需要者の皆さんから広くご意見・ご感想等を伺い、事業運営をよりよくするために「水道モニター」制度が開始され、令和2年4月に水道事業と下水道事業が組織統合され上下水道部となったのを機に、下水道事業も加えた上下水道モニターに改め、今年度で4年目になります。



【委嘱状交付の様子】

令和6年7月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	848,585	3,311,535	3,152,440	3,281,377	159,095	30,158
総配水量	786,731	3,077,472	2,940,710	3,061,895	136,762	15,577
1 有効水量	647,798	2,615,839	2,609,340	2,605,294	6,499	10,545
(1) 有収水量	609,858	2,485,951	2,475,600	2,488,505	10,351	△ 2,554
(2) 無収水量	37,940	129,888	133,740	116,789	△ 3,852	13,099
2 無効水量	138,933	461,633	331,370	456,601	130,263	5,032
(1) 漏水量	138,644	460,793	328,880	455,081	131,913	5,712
(2) その他無効水量	289	840	2,490	1,520	△ 1,650	△ 680
3 有収率	77.52%	80.78%	84.18%	81.27%	△ 3.40%	△ 0.49%

※ 当月期の最大配水量は、7月22日（月）に記録した【27,245m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
浄水施設整備事業	9	721,792	4	619,828	0	2,972	98,992	86.3%
配給水施設整備事業	43	1,333,284	6	78,054	0	18,798	1,236,432	7.3%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 保呂羽浄水場1号沈殿池の清掃作業を実施

7月3日（水）、保呂羽浄水場の1号沈殿池の清掃作業を行いました。

この作業は、沈殿池に汚泥が多く堆積すると、水処理に影響を及ぼすことから、定期的に清掃を行うものです。なお、2号・3号沈殿池においては、6月に清掃作業を行いました。また、清掃作業に併せて、沈殿池内部の状況の確認を行いました。この作業は、年3回計画的に行っています。



【1号沈殿池清掃作業の状況】

2 大萱沢浄水場1号ろ過池の砂掻き取り作業を実施

7月24日（水）、大萱沢浄水場の1号ろ過池の砂掻き取り作業を実施しました。

この作業は、浮遊物の蓄積と微生物の繁殖によって閉塞したろ過池の表面の砂を約2cm掻き取り、ろ過能力を回復させるものです。この作業は、ろ過池3池を計画的に行っています。



【1号ろ過池砂掻き取り作業の状況】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	16	55.600
	付属施設	0	0.000
	給水装置	71	45.960
	計	87	101.560

【漏水調査結果：4月～7月（累計）】
 ※参考：漏水量削減効果（金額換算）
 約709,490円/日当たり
 算定：R5年度給水原価 291.08円
 累計漏水量 101.560m³/h
 101.560m³/h × 24h × 291.08円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	273,914	1,026,473	1,106,264	△ 79,791		1処理場
特定環境保全公共下水道	61,491	215,081	208,669	6,412		3処理場
米谷・錦織処理区	13,004	44,328	43,595	733		
豊里処理区	32,180	120,799	120,674	125		
津山処理区	16,307	49,954	44,400	5,554		
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	11,757	47,235	48,049	△ 814		
農業集落排水	137,531	465,550	472,568	△ 7,018		24処理場
迫地区	9,715	34,288	35,133	△ 845		
東和地区	2,933	11,085	11,362	△ 277		
中田地区	37,919	131,585	130,371	1,214		
豊里地区	2,140	8,030	7,811	220		
米山地区	63,893	202,123	205,906	△ 3,783		
南方地区	20,931	78,439	81,986	△ 3,547		R6.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	42,664	176,281	171,154	5,127		2,163基
合計	527,357	1,930,620	2,006,704	△ 76,084		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	10	723,015	3	55,132	0	4,109	663,774	8.2%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	89	589,408	18	122,984	2	12,060	454,364	22.9%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 マンホールポンプ制御盤の工場検査を実施

令和6年7月24日に、現在施工中の新高石地区の機械設備更新に係るマンホールポンプ制御盤について、工場検査を実施しました。

工場検査は仙台市泉区にある(有)フォーデン工業で実施し、マンホールポンプ制御盤の構造や外観寸法、塗装色や塗膜厚、銘板・表示機器類の配置や配線状況などに不備が無いか検査を行いました。検査の結果、納入仕様書どおりに製作されていることを確認し、問題はありませんでした。



【工場検査状況】

2 汚水管渠築造工事の完了

迫町北方石打坂地区の汚水管渠築造工事(R5繰越)が完了しました。この工事は、開削工法及び推進工法による管路(施工延長L=185.54m)、マンホール(N=4基)の整備を行ったもので、令和7年4月1日から供用開始を行う予定です。今後、同地区内の未整備となっている管渠及び仮復旧の状態である道路舗装の本復旧を予定しています。公共下水道事業の早期完了に向け、引き続き汚水管渠の整備を行ってまいります。

○浄化槽整備事業受付状況
(7月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	25	55